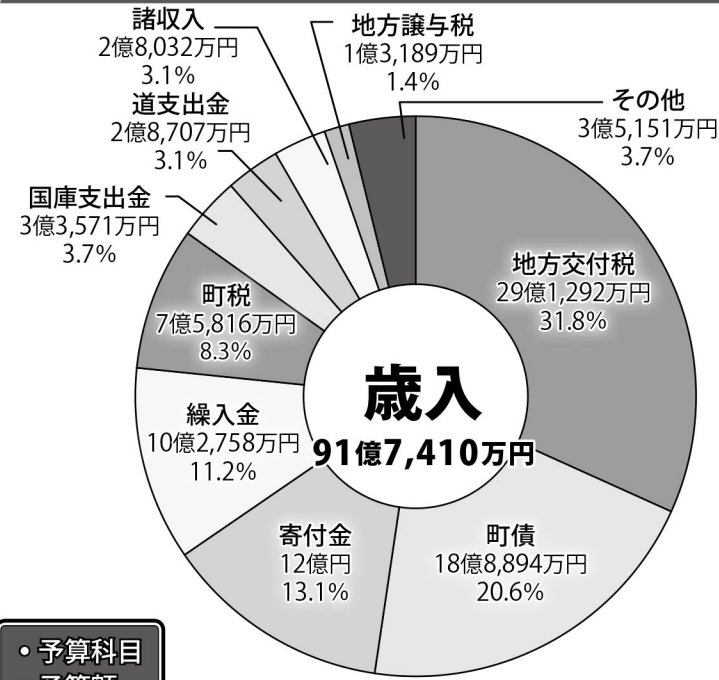


■ 一般会計予算の内訳



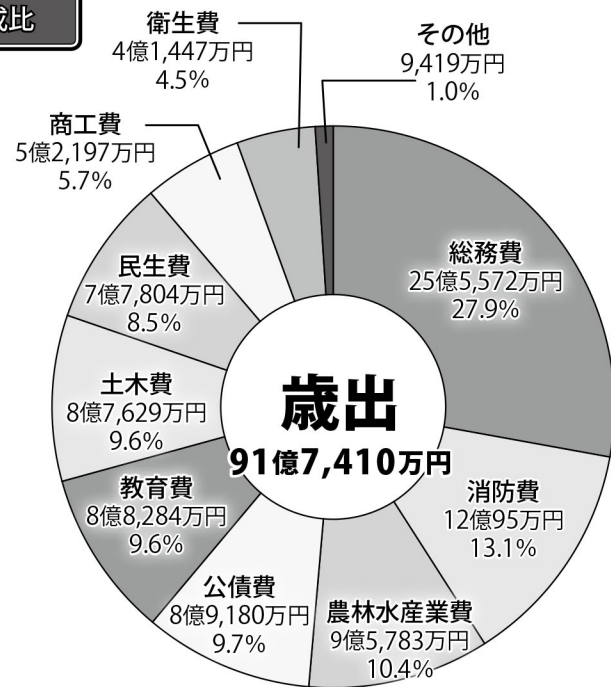
■ 主な歳入予算 (前年度予算との対比)

○地方交付税	29億1,292万円 (1億8,922万円増/6.9%増)
○町債	18億8,894万円 (5億8,087万円減/23.5%減)
○寄付金	12億円 (3億円減/20.0%減)
○繰入金	10億2,758万円 (1億4,973万円減/12.7%減)
○町税	7億5,816万円 (1,405万円増/1.9%増)

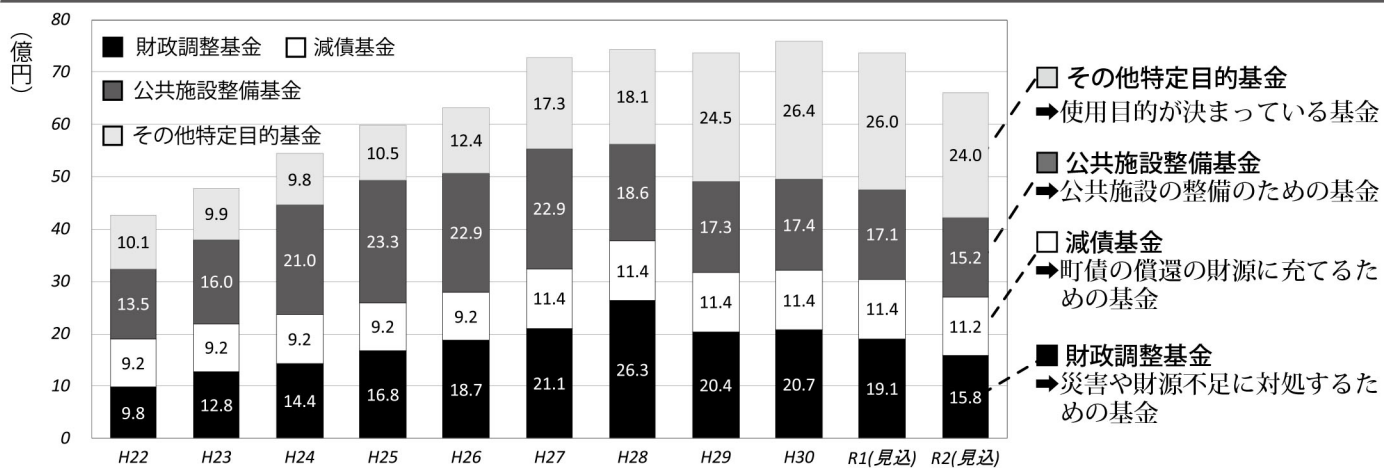
■ 主な歳出予算 (前年度予算との対比)

○総務費	25億5,572万円 (17億1,411万円減/40.1%減)
○消防費	12億95万円 (9億5,962万円増/397.6%増)
○農林水産業費	9億5,783万円 (7,543万円増/8.5%増)
○公債費	8億9,180万円 (1億2,798万円増/16.8%増)
○教育費	8億8,284万円 (2,124万円増/2.5%増)
○土木費	8億7,629万円 (1,455万円増/1.7%増)
○民生費	7億7,804万円 (512万円減/0.7%減)
○商工費	5億2,197万円 (10億9,730万円減/67.8%減)
○衛生費	4億1,447万円 (1,874万円減/4.3%減)

・予算科目
・予算額
・構成比



■ 一般会計基金現在高の推移



令和2年度 上士幌町

まちの予算

令和2年度は予算総額110億4,285万円 (前年度比13.0%減)

5,000人のまちづくりに向けて
さらなる人口減少への対策と地方創生を積極的に推進

■ 新消防庁舎および消防団訓練場を整備

■ 一般会計《歳入》

一般会計と5特別会計の当初予算は、総額110億4,285万円、前年度予算との比較で13.0%(16億4,602万円)の減額となりました。このうち、一般会計は91億7,410万円、同15.3%(16億5,254万円)の減額となりました。

主要な財源である地方交付税は、前年度予算との比較で6.9%増の29億1,292万円、町税は1.9%増の7億5,816万円を見込んでいます。基金からの繰り入れは12.7%減の10億2,758万円です。町債は23.5%減の18億8,894万円、緊急防災・減災事業債9億4,570万円などとなっています。

■ 一般会計《歳出》

歳出は、第5期総合計画における5,000人のまちづくりにおける、6つの目標を実現するための政策はもとより、本町の喫緊の課題となっている人口減少と地方創生に対する重点対策である「第Ⅱ期上士幌町人口ビジョン・総合戦略」に定める6つの基本目標、「地場産品で地域の活力を生み出すまち」「子育て・教育の充実したまち」「健康で安心して暮らせるまち」「移住定住による人口減少をくい止めるまち」「小さな拠点形成を目指すまち」「生涯活躍するまち」を達成するための施策を

重点テーマとし、積極的に推進することを方針としています。

■ 基金について

町が管理する基金残高は、令和元年度の決算見込みでは約75億9,557万円となっています。令和2年度は10億2,758万円を一般会計へ繰り入れ、ふるさと納税制度による指定寄付分として財政調整基金から1億5,037万円、ふるさと納税・子育て少子化対策基金から1億6,317万円、ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金から7,308万円を事業へ充当し活用します。

このほかに、基金と同様の取り扱いができるものとして、北海道市町村備荒資金組合超過納付金が約8億1,107万円あります。

基金については、公共施設整備などの大型事業や地方債の償還金の財源を確保するため、適正に管理していく必要があります。

※北海道市町村備荒資金組合とは

道内全ての市町村で組織する一部事務組合で、災害に備えるための資金の積立(普通納付金超過納付金)および、その積立金の管理運用を行っています。運用益から必要経費を控除した残額は、構成市町村の積立金残高に応じて配分されます。平成30年度の配分率(利率)は、普通納付金が1.00%、超過納付金が0.35%となっています。

令和2年度予算に計上された
特徴的な主要事業についてご紹介いたします。

＊ 防犯・防災・消防

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1	新	消防庁舎建設事業	8億7,241万円	新消防庁舎建設工事。
2	新	上士幌消防団訓練場整備事業	8,494万円	地域防災力の中核を担う消防団が演習および各種災害訓練等で活用する訓練場の整備。

＊ 農業・林業

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		土壌病害虫対策事業	430万円	粉状そうか病および各種センチュウ対策に係る薬剤購入経費の一部を助成。
2		ストックポイント整備事業	725万円	ストックポイントの整備に係る経費の一部を助成し、農作物輸送の効率化を図る。
3		家畜糞尿利用推進事業	162万円	バイオガスプラントから発生した消化液の散布費用の1/3を助成し、環境問題の防止と地力増強、農作物の収量増加を促進。
4		家畜防疫対策事業	180万円	畜産現場における家畜伝染病の侵入を未然に防ぐため、牛舎消毒とワクチン接種に対する助成を行うことで、畜産経営の安定化を支援。
5		畜産飼料作物増産対策事業	800万円	酪農・畜産農家の粗飼料不足の解消と耕畜連携体制の強化に向け、デントコーン受委託栽培に参加する受託組合員に対し助成。
6		農業後継者奨学資金等支給事業	102万円	将来、本町において農業に従事しようとする青少年に対し、奨学金を支給。
7		農業後継者対策推進経費	100万円	農業後継者の育成と確保に努めるため、農業後継者対策推進協議会に対する支援。
8		東部居辺地区道営農地整備事業	1億9,493万円	区画整理 10ha、農業集落環境管理施設(バイオガスプラント) 1箇所
9		林産業振興対策事業	1,034万円	経営合理化及び担い手対策を推進し、林業・木材産業界事業者の経営安定と林業労働者の雇用安定を図る。
10		森林環境譲与税基金積立金	1,431万円	国から譲与される森林環境譲与税を木材利用の促進や森林整備等に関する費用に充てるため、基金に積み立てる。
11		民有林造林促進事業	1,078万円	民有林において、森林の公益的機能の持続的な発揮のため、植栽・間伐等の適時適切な森林施業の実施に補助。
12		町有林整備事業	6,321万円	町有林整備を計画的に推進し、適切な森林の整備と保全に努める。
13		オソウシナイ線林道改良事業	6,641万円	オソウシナイ線林道の橋梁補修工事を実施。
14	新	木育推進事業	33万円	森林の果たす公益的役割や森林整備の必要性への理解をはぐくむため、木育活動を実施。

令和2年度

主なお金の使いみち

※表中の「新」は、令和2年度から新たに実施する新規事業

お問い合わせは、企画財政課財政担当(☎2-4290)まで

＊ 議会・行政・まちづくり

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		ふるさと納税推進事業	8億310万円	返礼品の充実、PRの強化。また、寄付者との繋がりを深め、交流人口の増加を図る。
2		生涯活躍のまち 上士幌創生包括プロジェクト事業	8,129万円	安心して豊かな生活が送れるまちを目指し、地域包括ケアや生涯活躍かみしほろ塾、人材センターの運営等、生涯活躍のまちを推進。
3		移住促進・二地域居住事業	3,785万円	移住定住促進のため、生活体験用住宅の整備や首都圏プロモーション活動、生活体験モニター、ふるさと納税寄付者との交流を実施。
4		おでかけ確保対策(地域公共交通網形成)事業	336万円	町おでかけ確保対策を図るため、地域公共交通網形成計画の協議、策定。
5	新	総合計画策定業務	498万円	第6期上士幌町総合計画策定に向けて、現状の調査分析から策定計画までを2カ年で行う。
6		エネルギー地産地消事業化モデル支援事業推進経費	2,100万円	再生可能エネルギー地産地消のまちづくりに向けた、コンソーシアム(共同事業体)への補助。
7		ふるさと起業家支援プロジェクト事業	300万円	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより起業したい方の資金を募り、支援する。
8	新	デジタル専門人材活用事業	1,082万円	デジタル人材を民間企業から受け入れ、次世代高度技術を活用したスマートなまちづくりを進める。

＊ 建築・土木・上下水道

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		地籍調査事業	5,148万円	地籍の明確化を図るための地籍調査、および地理情報の利活用推進のための地籍調査完了地区の過年度数値情報化を実施。
2	新	雪寒建設機械購入事業	6,320万円	除雪作業の効率化を図るため除雪車を購入。
3	新	まちなか住宅建設事業	9,088万円	老朽化した町営住宅の移転建て替えとして、まちなか住宅2棟6戸を建設。

✳ 商工・観光

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		商店街活性化対策事業	1,600万円	中元大売り出しや歳末大売り出し、新春大売り出し等、商店街の活性化を図る事業への支援。
2	新	商店街等情報発信対策事業	3,486万円	道の駅開業と連動し、商店街への誘客を図るため、商店を紹介するサイト設置やWi-Fi環境整備の取り組みを支援。
3		北海道バルーンフェスティバル開催事業	1,775万円	北海道バルーンフェスティバルの開催や、熱気球人材育成事業を行う組織委員会に対して補助。
4	新	DMO推進事業	2,537万円	観光地域づくり推進組織(DMO)のマーケティング調査や旅行商品開発調査などの取り組みを支援。
5	新	観光プロモーション事業	682万円	地域の魅力発掘、磨き上げやSDGsを意識した取り組み紹介など、地域全体のプロモーションを実施。
6		道の駅整備事業	1,901万円	道の駅建物周辺の付帯工事。
7		ナイタイテラス整備事業	6,625万円	旧施設跡地や駐車場、散策路など周辺整備。
8	新	道の駅等経済波及効果推計事業	103万円	「ナイタイテラス」「道の駅」開業による経済波及効果推計を実施。
9	新	ぬかびら源泉郷スキー場支援(人工降雪機購入)事業	367万円	ぬかびら源泉郷スキー場の早期営業を図るため、地域で組織する協議会による人工降雪機購入を支援。

✳ 子育て支援・教育・文化

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		北海道上士幌高等学校振興会助成事業	5,405万円	上士幌高等学校の存続に向けた取り組みを進める振興会への助成により、高校の魅力化を推進。
2		まなびの広場開設事業	745万円	学習支援動画教材を活用した講座や探求型の授業を長期休業期間中に実施し、家庭学習の定着を目指す。
3		プログラミング教育推進事業	309万円	プログラミング教育に係る外部講師による授業研究および学習教材ロボットによりICT教育環境を整備。
4		特別支援教育支援員設置事業	566万円	上士幌小学校に、障がいのある児童に対する介助や学習支援等を行う特別支援教育支援員を配置。
5		小学校教育充実事業	4,001万円	少人数学級教諭、学校教育推進支援教員の配置や、大学との授業研究連携。
6		中学校体育館バスケットゴール改修事業	1,439万円	上士幌中学校の吊上げ式バスケットゴールの耐震化工事。
7		中学校教育充実事業	1,095万円	中学校教育の充実を図るため、特別支援教育担当教諭を配置。
8		異文化交流推進事業	1,062万円	認定こども園に外国語指導講師(ALT)を配置。
9		コミュニティスクール事業	713万円	学校運営協議会の活動を通して、コミュニティ・スクールを活用した地域とともにある学校づくりを推進。
10		かみしほろ学園推進事業	1,653万円	幼保小中高の一貫性の確立、課外活動の充実、体験活動の充実を進め、子ども教育ビジョンの具現化を図る。
11	新	給食センターボイラー設備更新事業	3,787万円	小型貫流蒸気ボイラー、真空式温水発生器、吸収式冷温水発生機の整備。

✳ 環境・衛生・労働

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		高齢者運転免許自主返納支援事業	6万円	運転免許証を自主返納した高齢者に対して運転経歴証明申請手数料等を補助し、免許返納制度の利用促進を図る。
2		老朽施設解体撤去促進事業	500万円	地域の防犯対策・防災対策と住環境の維持向上のため、老朽施設の解体撤去費用の一部を助成。
3		無料職業紹介事業	312万円	求職者と町内事業所に職業紹介と人材あっせんを行い、産業振興、雇用成立、移住・定住の促進を図る。

✳ 保健・医療・福祉・介護

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		福祉灯油等支給事業	550万円	在宅で生活する低所得の世帯に対し、冬期間における採暖用灯油等購入費の一部を10,000円の商品券で助成し、冬の生活を支援。
2		介護保険サービス利用者負担軽減措置助成事業	39万円	社会福祉法人による低所得者への利用料軽減助成。
3		老人クラブ活動育成推進経費	184万円	老人クラブ連合会への活動費補助金。
4		災害時要援護者登録台帳等管理経費	166万円	緊急時や相談業務において一元的な対応を可能とする地域福祉システムの運用保守経費。
5		高齢者等福祉バス運行事業	2,367万円	高齢者等の外出支援のため、市街地循環、農村部から市街地への巡回バスを運行。老人クラブ等の研修に係るバスの送迎も実施。
6		権利擁護人材育成事業	259万円	後見支援員として活動する市民後見人の養成を行い、地域の権利擁護支援を推進。
7		子ども医療給付事業	2,191万円	高校卒業時までの医療費自己負担を無料化。
8		予防接種経費	1,592万円	従来の定期予防接種の実施のほか、働く世代の男性に対し風しんの予防接種を開始。
9		歯科予防経費	93万円	小児に対するう歯予防を目的とした歯科健診や健康教育等の実施。
10		妊婦健康診査事業	652万円	妊娠中の健康診査費・交通費を助成し経済的負担を軽減。
11		健康診査経費	465万円	健康診査により疾病の早期発見や適切な治療につなげ、疾病の発症・重症化予防を図る。新規項目として新生児の聴覚検査費用を助成。
12		特定健康診査等事業	782万円	国保被保険者の特定健診・特定保健指導の実施。
13		介護予防普及啓発事業	391万円	高齢者自身による健康管理を促し、介護予防教室や高齢者体力・認知力測定会を実施。
14		地域包括支援センター運営事業	879万円	包括的支援の相談対応と介護予防事業の実施、介護予防支援計画の策定等。
15		成年後見制度利用支援事業	86万円	成年後見制度の申し立て支援や低所得者への後見報酬費用の助成。
16		生活支援体制整備事業	1,019万円	地域住民による互助の関係づくり等を進める生活支援コーディネーターの業務委託により、生活支援体制整備に取り組む。

◆ 令和元年度のふるさと納税の寄付額

寄付別	令和2年3月13日現在		割合
	件数	金額	
一般寄付	45,578件	8億4,616万円	55.6%
指定寄付	36,256件	6億7,629万円	44.4%
合計	81,834件	15億2,245万円	100.0%

▼ 指定寄付の使い道別内訳

指定用途	令和2年3月13日現在		割合
	件数	金額	
子育て・教育	18,787件	3億4,027万円	50.3%
農林業	6,959件	1億4,252万円	21.1%
医療・福祉・介護	4,011件	7,452万円	11.0%
自動運転バス導入促進	3,072件	5,747万円	8.5%
観光	2,992件	5,309万円	7.9%
商工業	435件	842万円	1.2%

◆ ふるさと納税の主な活用事業 ※令和2年度事業への充当活用予定

❖ 子育て・教育 ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金活用事業

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	高校世代までの子ども医療費助成事業拡大事業	279万円	279万円	-	-	子ども医療費の無料化を高校世代まで拡大。
2	バルーンスタンプ子育て支援カード事業	625万円	625万円	-	-	「子育て支援カード」を発行し、満点で5,000円分の商品券と交換。
3	子育て世代住宅建設支援事業	2,300万円	2,300万円	-	-	子育て世代の負担軽減と定住・移住促進のため、住宅購入費用を助成。
4	自然環境教育推進事業	56万円	56万円	-	-	小中学生に豊かな自然環境と地域資源を活かした体験活動を推進。
5	まなびの広場開設事業(旧公営塾開設事業)	745万円	745万円	-	-	中学生のまなびの広場を開催し、進学志向生徒の保護者負担軽減を図る。
6	プログラミング教育推進事業	309万円	309万円	-	-	プログラミング教育の充実、学習教材ロボットを活用した教育。
7	認定こども園保育料無料化事業	3,130万円	3,130万円	-	-	保護者の負担軽減のため、認定こども園保育料を完全無料化。
8	認定こども園異文化交流推進事業	1,062万円	1,062万円	-	-	幼児期からの異文化交流を図るため、外国語講師による指導を行う。
9	認定こども園遠距離通園支援事業	366万円	366万円	-	-	認定こども園遠距離通園者の送迎費用を助成。
10	小学校イングリッシュルーム用モニター整備事業	473万円	473万円	-	-	小学校の英語教科化に伴い、大型モニター(電子黒板)を整備。
11	中学校備品購入事業	853万円	853万円	-	-	サッカーゴール一式、理科用生物顕微鏡の更新。
12	学校教育充実事業	5,096万円	5,096万円	-	-	小中学校における教育の充実を図るため、町費による教職員の配置。
13	子どもの夢・未来応援事業	116万円	116万円	-	-	著名人を招へいし、その技術や考え方に子どもたちが直接触れる機会を提供。
14	かみしほろ学園推進事業	584万円	584万円	-	-	「上土幌町子ども教育ビジョン」の目指す子ども像の具現化・見える化を進める。
15	青少年教育推進事業	156万円	156万円	-	-	かみっ子ふるさと体感塾の開催および、少年会が実施する各種活動に助成。
16	こどもの本と映像ソフト購入事業	96万円	96万円	-	-	図書館の児童書、絵本、映像ソフトの充実、乳幼児の親子に絵本をプレゼント。
子育て・教育 計		1億6,337万円	※その他の未記載の事業を含みます			

ふるさと納税寄付金の使いみち



全85事業

総額3億8,662万円

令和2年度も

幅広い分野に活用していきます



全国の皆さまから上土幌町へ「ふるさと納税」として寄せられたご寄付は、令和元年度は約8万2千件、金額にして15億円を超えるご厚志をいただきました。ご寄付により上土幌町を応援していただきました皆さまに、心より感謝を申し上げます。
 上土幌町では、ふるさと納税制度を通じて消費が拡大し、地元企業や生産者による特産品開発が進み、新たな雇用も生まれています。お受けした寄付金は、さまざまな分野で活用しております。
 上土幌町に寄せられたふるさと納税のご寄付がどのように活用されているのか、その内容についてお知らせいたします。

❖ 農業・林業

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	農業担い手育成助成事業	96万円	96万円	—	—	農業の新規参入者への支援。
2	土壌病害虫対策事業	430万円	430万円	—	—	粉状そうか病および各種センチュウ対策に係る薬剤購入経費の一部助成。
3	ストックポイント整備事業	725万円	725万円	—	—	ストックポイント整備に係る経費の一部助成。
4	家畜糞尿利用推進事業	162万円	162万円	—	—	バイオガスプラントから発生した消化液の散布費用を一部助成。
5	酪農ヘルパー組合助成事業	250万円	250万円	—	—	酪農業の労働力確保対策。
6	家畜防疫対策事業	180万円	180万円	—	—	家畜の伝染病蔓延対策。
7	畜産飼料作物増産対策事業	800万円	800万円	—	—	粗飼料確保のため、デントコーン受託栽培に対する助成。
8	ゲノム解析黒毛育種卵生産拡大事業	1,025万円	775万円	—	250万円	十勝ナイタイ和牛の品質向上のため受精卵移植等に係る経費を助成。
9	農業後継者奨学資金等支給事業	102万円	102万円	—	—	農業に従事しようとする青少年への奨学金の支給。
10	農業後継者対策推進経費	100万円	100万円	—	—	農業後継者の育成および確保対策。
11	有害鳥獣駆除経費	369万円	200万円	169万円	—	有害鳥獣による農作物等への被害対策。
12	林産業振興対策事業	1,034万円	756万円	—	278万円	経営合理化や担い手対策により、林業・木材産業を振興。
農業・林業 計			7,807万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 商工・観光

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	産業振興対策経費	1億8,076万円	209万円	4,610万円	1億3,257万円	新規創業等に対する支援等。
2	農林商工連携促進事業	604万円	100万円	404万円	100万円	地域の資源を活用した新商品開発等への支援。
3	商店街等情報発信対策事業	3,486万円	100万円	249万円	3,137万円	飲食店等お知らせマップの作成。
4	熱気球管理経費	358万円	300万円	58万円	—	熱気球のPRおよび町所有の熱気球の管理。
5	観光協会助成経費	755万円	280万円	475万円	—	観光協会への支援。
6	観光施設維持管理経費	1,825万円	500万円	1,088万円	237万円	町内観光施設の維持管理。
7	観光管理経費	662万円	350万円	309万円	3万円	観光パンフレット作製やイベント用テントの購入。
8	北海道バルーンフェスティバル開催事業	1,775万円	533万円	1,242万円	—	バルーンフェスティバルの開催、および人材育成。
9	ぬかびら源泉郷冬季観光客誘致事業	140万円	140万円	—	—	ぬかびら源泉郷への冬季観光客の誘致活動。
10	自然館維持管理経費	963万円	500万円	381万円	82万円	ひがし大雪自然館の運営。
商工・観光 計			2,603万円			

❖ 健康・安心・いきがい・生涯活躍 ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金活用事業

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	生涯活躍のまち 上士幌創生包括プロジェクト事業	8,129万円	2,385万円	—	5,744万円	地域包括ケアの充実など、生涯活躍のまちを実現するための委託料。
2	緊急通報用電話機設置事業	191万円	191万円	—	—	ひとり暮らし高齢者等の緊急時援護のため、病状不安等の対象者宅に機器を設置。
3	三愛介護サービス事業推進経費	1,609万円	1,157万円	—	452万円	介護要支援者等に対する町独自の生活支援サービスを提供。
4	高齢者等福祉バス運行事業	2,367万円	2,367万円	—	—	高齢者や障がい者等の外出支援を目的とした循環バスの運行。
5	高齢者在宅介護支援事業	203万円	203万円	—	—	介護者等に介護用品を支給し、介護に係る負担を軽減。
6	健康増進センター入浴料減免事業	632万円	632万円	—	—	70歳以上の町民が低料金で温泉を利用できるように支援。
7	生活支援体制整備事業	1,019万円	235万円	—	784万円	高齢者等への新たなサービスを構築するために生活支援コーディネーターを配置。
8	40歳スタート・脳ドック検診事業	116万円	116万円	—	—	40歳時の検診費用と、一般町民に対する脳ドック検診費用を助成。
健康・安心・いきがい・生涯活躍 計			7,308万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 保健・医療・福祉・介護

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	福祉灯油等支給事業	550万円	336万円	164万円	50万円	低所得世帯の灯油等購入に係る経費を補助。
2	老人クラブ活動育成推進経費	184万円	138万円	—	46万円	老人クラブの活動に対する支援。
3	高齢者等福祉サービス助成事業	2,854万円	400万円	2,454万円	—	高齢者等の福祉サービス事業への助成。
4	障害者地域生活支援事業	1,277万円	300万円	388万円	589万円	障がい者への地域生活の支援。
5	障害福祉サービス助成事業	345万円	115万円	230万円	—	障害福祉サービス事業所運営補助。
6	1歳6か月児・3歳児健康診査事業	110万円	110万円	—	—	1歳6か月児・3歳児健康診査の実施。
7	妊婦健康診査事業	652万円	217万円	404万円	31万円	妊娠中の健康診査経費、交通費の助成。
8	女性がん検診普及啓発キャンペーン事業	331万円	110万円	221万円	—	検診費用の無料化や普及啓発。
保健・医療・福祉・介護 計			3,919万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 起業家支援

事業名	寄付金活用額	事業内容
ふるさと起業家支援プロジェクト	300万円	地域の活性化や課題解決を図ろうとする起業者に支援。